

取り付けの詳細は
ココでも!
携帯動画で取り付
けをチェック!

YouTube™



■作業のポイント

配線は故障診断コネクタに接続するだけなので、とても簡単である。設定に関しても手順どおり行えば5分ほどで完了する。



■作業時間 ……およそ30分

【アイテムプロフィール】

■難易度 ……☆☆

3drive FLAT&COMPACT

■使用工具 ……六角レンチ

価格:3万4650円

(車種別ハーネスセット)

©:ピボット tel.0263-46-5901

pivot ▶▶▶

PIVOT 3-DRIVE

ピボット・3ドライブ

診断コネクタに接続するだけでOK
発売以来、エコを求める時流に乗って好評な売れ行きを見せているピボットの3ドライブ。「ノーマル」「スポーツ」「エコ」3モードに切り替えられ、それぞれの領域で緻密な制御を行うスロットルコントロールシステムだ。
注目は純正制御そのままのノーマルを除く両モード内で、さらにキメ細かく変化可能な点。スポーツは7段、エコは5段となっている。配線は故障診断コネクタに接続するだけで完了。なおバック走行時は自動的にノーマルが選択される。

START!



故障診断コネクタにつながっている配線をユニット背面のコネクタ端子に接続する。



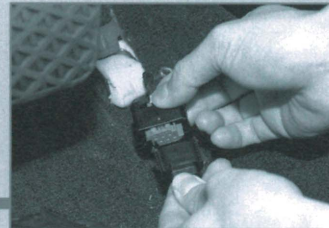
運転席の足元のドアヒンジ付近にある故障診断コネクタのフタを取り外して差し込む。



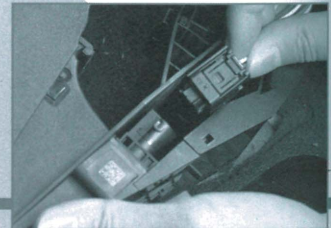
専用ハーネスをアクセルのカブラーに接続するため、六角レンチを使ってアクセルペダルを外す。



ネジが外れたらアクセルペダルを手前に引きながら上へ持ち上げる要領で取り外す。



BMW専用のハーネスを車両側のアクセルコネクタに接続する。車体とアクセルの間にかませる感じだ。



ハーネスの反対側のコネクタを先ほど取り外したアクセルペダルのコネクタへ接続する。



配線が終わったら、表示が見やすく運転の邪魔にならない場所にコントローラーを両面テープで固定。



モニターを取り付ける場所の確認ができれば貼り付ける面を脱脂して取り付け作業。



アクセル操作や乗り降りするときに邪魔にならないよう配線の取りまわしもしっかりと確認して設置。



コントローラーを目立たないところに付属の両面テープで取り付ける。しっかりと脱脂を行うこと。



キーをONにしてSETスイッチを数秒押し続ける。表示が0になったら押すのをやめる。



表示が0になったらのを確認したらボタンを押すのをやめて電圧が表示されているかチェックしよう。



アクセルを踏まずにSETを押し、アクセル0%の状態を読み込ませる。



0%の設定が完了したら今度はアクセルを目いっぱい踏んで100%のアクセル開度の状態を記憶させる。

モードの切り替えはノーマル以外に2種類



エンジン回転の上がり方がおたやかに変わり燃費向上に貢献する。



アクセル踏み込み量よりも開度を上げて鋭いレスポンスを得るモード。

用途に応じて「ノーマル」「スポーツ」「エコ」の3モードに切り替えることができるスロットルコントロールシステム。注目は各モードをキメ細かく調整することが可能など。スポーツは7段、エコは5段階に切り替えられる。走りに合わせて燃費重視か走り重視を簡単に選べるのがうれしい。

FINISH!



アクセルをベタ踏みで100が表示されたらアクセルを離す。そうすると表示がnanに変わり設定が完了。



アクセルを100%踏み込んだ状態がこの電圧表示。表示される数値は車種により変わるので注意。